

記入例（都道府県・団体共通）※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

調書（1）都道府県、団体（第21部門）

（様式3の4、様式3の5）

令和8年11月1日 現在

都道府県番号	○	推薦都道府県名 推薦団体名	職業部門	第21部門	職種名（1）	職種名（2）
		○○県 または 一般社団法人○○協会			数値制御金属工作機械工	マシニングセンタオペレーター

推薦都道府県名欄、都道府県番号欄

プルダウンから推薦都道府県名を選択。
選択した都道府県に対応する番号が自動で都道府県番号欄に挿入される。

推薦団体名欄

正式名称を記入。

職業部門番号欄、職種名（1）欄

「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参考に職種をプルダウンにて選択し、記入。

（2）欄は手入力する。

氏名・現就業先事業所名の外字欄

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ず記入。

氏名・ふりがな・性別欄

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前間に**全角スペースを1つ挿入**する。
性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択する。

ふりがな	ぎのう ゆうこ	性別	女	生年月日	氏名・現就業先事業所名の外字
氏名	技能 優子	年齢	52	昭和48年10月17日	例：「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字
障害名 障害程度	障害名 身体障害 (聴覚障害)	障害程度 (等級)	2級	療育手帳 判定	【障害程度について】 ○療育手帳による程度の区分 療育手帳等で次の記載が確認される場合は「A」を選択（A、A1、A2、A3、1度、2度、A重、A中、A2a、A2b、A最重度、A重度）。それ以外は「B」を選択。 ○重度知的障害者判定による重度判定 療育手帳による程度の区分「B」のうち、地域障害者職業センターが行う重度知的障害者判定を受け、判定書が交付された者について、当てはまる判定を選択。
障害の概要	障害の概要欄 具体的にどのような障害であるかを記入する。				
現住所	障害名・障害程度欄 被推薦者の障害者手帳に記載されている障害名及び障害程度をプルダウンから選択する。				
〒 000-0000	生年月日・年齢欄 生年月日を入力すると和暦に変換される。 入力は西暦で「yyyy/mm/dd」（スラッシュ区切り）のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。				
都道府県 ○○県	現住所欄 被推薦者の現住所および電話番号を記入する。都道府県はプルダウンにて選択。住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入。				
市区町村 ○○市○○町○丁目○					
○○マンション○○号室					
TEL 000-000-0000					

就業先欄

所属企業欄には、雇用企業名を、自営の場合は屋号等を省略せず正確に記入（法人格を省略しないこと）。拠点名があれば記入する。（例：「○○工場」「○○支店」「○○営業所」）
また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに記入する。
推薦時に、令和8年11月1日以前に就業地の変更が確定している場合は「（○月○日より変更予定）」と記入。なお、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡する。

職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。
団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しない。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴とする。
現役の職歴は最後に「として現在に至る」と記入。

就業先 (都道府県)	所属名	株式会社 ○○工業 ○○支部	職歴	在職期間(年月日)	在職年月数
企業全体の従業員数	120人	企業全体の従業員数欄 被推薦者も含めた人数を半角数字で入力する。就業者が被推薦者のみの場合は、1と入力する。 ※事業所の人数は記載しない。	(株)○○工業○○支部第二製造部○○課に電機工として就職 (株)○○工業○○支部第二製造部××課に配置転換 同課の××班の指導係員に就任し現在に至る	H8.4.1 ~ H27.3.31 H27.4.1 ~ R2.3.31 R2.4.1 ~ R8.11.1	19年0月 5年0月 6年7ヶ月
所在地	〒 000-0000				
都道府県	○○県				
市区町村	○○市○○町○○○				
TEL	000-000-0000 (内線****)				
			在職期間(年月日)・在職年月数欄 在職期間の合計は、計算の上手入力のこと。 重複期間を除く	在職期間 計	30年7ヶ月
				在職期間 計	30年7ヶ月

現職については、令和8年11月1日をもって終期とすること。

表彰歴、免許・資格、大会入賞歴・技能検定等写しの提出について

本調査に記入した表彰や入賞歴などは、証する写しを全て、「その他資料」として提出すること。

※「様式4 写真」には記載しないこと。

その際には、表彰名や免許、資格名に①、②と番号を振り、根拠となる写しのファイルにも同様に①、②と番号を付すことで、どの根拠資料を示しているかが明確に分かるよう工夫すること。

表彰歴	表彰の種類	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰	①障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰（優秀勤労障害者）	HO年〇月
	知事・行政機関の局長表彰	②〇〇県優秀勤労障害者	HO年〇月
	全国レベルの業界団体表彰		
	その他		

表彰歴欄 ※項目名の変更や行の追加など勝手に様式を変えないこと。

表彰を有する場合、表彰の概要及び取得年月を記入。（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入）表彰の種類は、上段より順に該当項目に記入。

- ・「〇〇大臣賞」の場合は大臣表彰。
- ・「〇〇マイスター（〇〇知事賞）」の場合は知事・行政機関の局長表彰。
- ・「一般社団法人〇〇協会会長賞」の場合は全国レベルの業界団体表彰。

免許・資格等

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、免許・資格等の概要と取得年月を記入し、免許等を証する書面の写しを全て添付する。

免許・資格等	免許の種類		免許・資格等の概要				取得年月	
	職業訓練指導員免許							
	技能検定委員							
	特許・実用新案等							
アビリンピック入賞歴	大会名など	開催回数 認定年度	競技種目名	順位	技能検定	等級	技能士の名称	取得年月
	国際アビリンピック					一級	⑥機械加工技能士	HO年〇月
	全国障害者技能競技大会 (全国アビリンピック)	32回	③機械CAD	銅賞				
	地方アビリンピック	10回	④機械CAD	銀賞				
大会表彰歴等	技能グランプリ (一級技能士競技大会)							
	技能五輪国際大会入賞歴		技能・技術が分かるサイト等欄 自身の技能や技術が分かるサイト（会社・団体HP等）があれば記入。					
	技能五輪全国大会入賞歴							
	高度熟練技能者						https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kyou_roudou/〇〇〇/index.html	
	ものづくりマイスター		HO年度	⑤〇〇〇〇	〇位	技能・技術が分かるサイト等 (HPのURLを記載)		
	全技連マイスター							

技能検定欄

等級は漢数字で記入。
技能士の名称、取得年月を記入。

アビリンピック入賞歴・大会入賞歴等欄

高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスターに該当する場合は、認定された年度（元号アルファベット+数字）、業種、職種を記入。

国際アビリンピック入賞歴、全国アビリンピック入賞歴、地方アビリンピック入賞歴、技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入。

具体的留意点の「9.表彰歴欄」を参照のこと。

記入例（都道府県・団体共通）※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

調書（２）都道府県、団体（第21部門）

（様式3の4、5）

都道府県番号	都道府県名	職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ぎのう ゆうこ
○	〇〇県 または 一般社団法人〇〇協会	第21部門	数値制御金属工作機械工	マシニングセンタオペレーター	氏名	技能 優子

過去5年の推薦回数欄

過去5年において被推薦者が卓越した技能者の表彰について推薦された年度を記入し、合計回数を確認する。

都道府県番号欄、推薦都道府県名、推薦団体名、職業部門、職種名（１）、職種名（２）、氏名欄

調書(1)に記載したものが自動で反映。

過去5年の推薦回数		推薦者及び推薦理由	(所在地又は住所)		推薦者及び推薦理由欄 推薦者の所在地または住所、電話番号及びその推薦理由を記入する。推薦者氏名は、都道府県知事名または団体代表者氏名とするが、空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記し、職務代行者名を記入。 都道府県知事推薦の1位の者に関しては、他の候補者と比較して最上位とした理由も併せて記入。
令和4	年度		〒	000-0000	
令和3	年度		都道府県	〇〇県	
	年度		市区町村	〇〇市〇〇町〇〇-〇	
	年度				
	年度				
計	2		回		
推薦総数等			(推薦都道府県知事名)	TEL 000-111-1111	
選考対象者総数	2人		〇〇県知事 〇〇 〇〇 または、 一般社団法人〇〇協会 会長 〇〇 〇〇		
推薦総数	1人		(推薦理由)	氏は〇〇の障害があるものの、マシニングセンタオペレーターにかかる優れた技能を有しており、その技能を活かして、最も重要かつ高い技能が求められる〇〇業務に指導係員として従事している。職場では障害者雇用への理解が深く、その技能の実現のためには、障害による作業効率が低下しないよう、〇〇の工夫をする等職場環境の改善を図り、卓越した技能になるに至った。日々の業務においても、後進者の指導に尽くし、事業所全体の技能レベルの向上にも大きく貢献した。また、〇年にわたりアビリンピックの指導を行い、数多くの全国アビリンピック受賞者を輩出するなど、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、優れた技能を有するとともに、その技能を伝承する上で大きな役割を担っているため推薦する。	

推薦総数等欄

・選考対象者総数欄・・・推薦に当たり、被推薦者とならなかった者も含め選考の対象とした全ての人数を記入。なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の市区町村、商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載し、潜在的な人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意する。

・推薦総数欄・・・被推薦者の全部門における総数を記入。（1人のみ推薦の団体は不要）

卓越した技能の概要欄

P12 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上記入。一葉で記入することが困難な場合は、調書（3）まで記載して差し支えない。
 なお、自身の持つ障害に触れながら障害をどのように乗り越えて技能のレベルを高めてきたのか、また被推薦者の技能向上のために職場環境の工夫や取組みについても具体的に記入する。

卓越した技能の概要			
技能の概要 (障害の克服と技能研鑽への工夫や取り組み)	功績・貢献の概要 (社会的貢献活動を含む)	技能の指導及び育成の概要	現役性
<p>1 優れた組立技能 氏は〇〇の障害がありながらも、機械CADをはじめとした、マシニングセンタオペレーターにかかる卓越した技能を有する。1/1000単位等非常に正確さを要するこの作業について、金属の性質や回転数を考慮しながら、他の技能者であれば、その品質は〇〇単位の精度が求められるところ、その更に1/10の〇〇単位の精度までの加工を行うことによって、緻密且つ高品質な製作を行っていることから通常〇〇日かかるところ、氏は障害により遅れがちとなる作業スピードを卓越した技能によって通常〇日かかるところを〇日で仕上げ、稼働率は〇〇%アップし、且つ、高品質な製品を実現し、企業の業績にも大きく貢献している。また、氏存在により安定稼働がなされているといっても過言でない。 このような極めて優れた技術も、氏は人一倍努力を積み重ね技能を研鑽するだけでなく、その技能を実現するため、障害による作業効率が低下しないよう、職場環境の改善として、〇〇の措置を講じるなどをした。このことによって、事業所全体の環境改善に目を向けることができ、引いては技能レベルの向上に大きく貢献した。</p>	<p>1 業績への貢献 氏の製品づくりは、高度な技能による精度の追求や、スピードだけではない。 取引先が新製品の開発の相談があれば、複雑な形状への困難とされる加工も行うことができるため、多種多様な提案を行うことができ、また、氏の提案には自信の経験から障害雇用にも配慮されたものとなっている。こうしたことから、先方の企業からは、非常に満足度が高い評価を受け、引いては売り上げ高にも貢献するなど、企業自体の信頼度も高めている。</p> <p>2 業界における障害がある技能者の技能向上への貢献 全国アビリンピックに機械CAD職種として〇度出場し、第32回大会では銅賞を受賞するなど、業界における障害がある技能者の技能向上に多大な貢献をした。</p> <p>3 社内への貢献 氏は〇〇社〇〇部門に採用され、勤続〇〇年従事しており、その知識と技能は、他の従業員の模範となっており、周囲の従業員からも相談を受けたり、指導も行っている。</p>	<p>1 第二製造部〇〇課××班における後進者指導 上記班に所属する〇名の職員に対し〇〇業務の指導を行い、職員に豊富な知識を伝えることで、事業所内の周囲や職員の後進の育成に貢献している。</p> <p>2 アビリンピックの指導 氏は過去に出場した経験を生かし、どのような指導を行えば効率的に競技大会で好成績を収めることができるか、といった感性を体得しており、第二製造部〇〇課××班の指導係員として日々〇〇業務に従事する傍ら、アビリンピックの指導を行い後進育成にも尽力している。優れた技能を用いて、〇〇年間にわたり、〇〇職種の指導を行ったことで、〇名が全国アビリンピックに出場し、うち△名が受賞した。</p>	<p>1 氏は、第二製造部〇〇課××班の職員として勤務しているが、人柄は温厚で、誰とも親しくコミュニケーションを取れる人気者であり、所属部署の職員だけでなく、社内の雰囲気づくりに貢献している。</p> <p>2 勤務態度についても、挨拶等しっかりとした礼節の下、時間に遅れることなく、熱心に業務に取り組んでいる。 1日の主な作業内容及び時間は次のとおり。</p> <p>1 〇〇業務：〇時間 2 大会指導：〇時間 (大会直前期は△時間)</p>

229

189

171

119

記入例

調書（１）一般（第21部門）

(様式 3 の 6)

令和8年11月1日 現在

職業部門	第21部門	職種名（１）	職種名（２）
		数値制御金属工作機械工	マシニングセンタオペレーター

職業部門番号欄、職種名（１）欄

「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参考に職種をプルダウンにて選択し、記入。
 （２）欄は手入力する。

氏名・現就業先事業所名の外字欄

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ず記入。

氏名・ふりがな・性別欄

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前間に全角スペースを1つ挿入する。
 性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択する。

ふりがな 氏名	ぎのう ゆうこ 技能 優子	性別 年齢	女 52	生年月日 昭和48年10月17日	氏名・現就業先事業所名の外字 例：「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字
障害名 障害程度	障害名 身体障害 (聴覚障害)	障害程度 (等級)	2級	療育手帳 判定	【障害程度について】 ○療育手帳による程度の区分 療育手帳等で次の記載が確認される場合は「A」を選択（A、A、A1、A2、A3、1度、2度、A重、A中、A2a、A2b、A最重度、A重度）。それ以外は「B」を選択。 ○重度知的障害者判定による重度判定 療育手帳による程度の区分「B」のうち、地域障害者職業センターが行う重度知的障害者判定を受け、判定書が交付された者について、当てはまる判定を選択。
障害の概要	障害の概要欄 具体的にどのような障害であるかを記入する。				

現住所	〒 000-0000	都道府県	〇〇県	市区町村	〇〇市〇〇町〇丁目〇〇	〇〇マンション〇〇号室	TEL	000-000-0000
-----	------------	------	-----	------	-------------	-------------	-----	--------------

障害名・障害程度欄

被推薦者の障害者手帳に記載されている障害名及び障害程度をプルダウンから選択する。

生年月日・年齢欄

生年月日を入力すると和暦に変換される。
 入力には西暦で「yyyy/mm/dd」（スラッシュ区切り）のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。

現住所欄

被推薦者の現住所および電話番号を記入する。都道府県はプルダウンにて選択。住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入。

就業先欄

所属企業欄には、雇用企業名を、自営の場合は屋号等を省略せず正確に記入（法人格を省略しないこと）。拠点名があれば記入する。（例：「〇〇工場」「〇〇支店」「〇〇営業所」）
 また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さず記入する。推薦時に、令和8年11月1日以前に就業地の変更が確定している場合は「(〇月〇日より変更予定)」と記入。なお、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡する。

職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しない。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴とする。
 現役の職歴は最後に「として現在に至る」と記入。

就業地 (都道府県)	所属名	株式会社 〇〇工業	〇〇支部	企業全体の従業員数	120人	所在地	〒 000-0000	都道府県	〇〇県	市区町村	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇	TEL	000-000-0000 (内線****)																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職歴</th> <th>在職期間 (年月日)</th> <th>在職年月数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株) 〇〇工業 〇〇支部 第二製造部 〇〇課 電機工として就職</td> <td>H8. 4. 1 ~ H27. 3. 31</td> <td>19年0月</td> </tr> <tr> <td>(株) 〇〇工業 〇〇支部 第二製造部 ××課 配置転換</td> <td>H27. 4. 1 ~ R2. 3. 31</td> <td>5年0月</td> </tr> <tr> <td>同課の××班の指導係員に就任し現在に至る</td> <td>R2. 4. 1 ~ R8. 11. 1</td> <td>6年7ヶ月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>~</td> <td>0年0ヶ月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>~</td> <td>0年0ヶ月</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0年0ヶ月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">在職期間 (年月日) ・ 在職年月数欄</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">在職期間の合計は、計算の上手入力のこと。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">在職期間 計</td> <td>30年7ヶ月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">重複期間を除く 在職期間 計</td> <td>30年7ヶ月</td> </tr> </tbody> </table>														職歴	在職期間 (年月日)	在職年月数	(株) 〇〇工業 〇〇支部 第二製造部 〇〇課 電機工として就職	H8. 4. 1 ~ H27. 3. 31	19年0月	(株) 〇〇工業 〇〇支部 第二製造部 ××課 配置転換	H27. 4. 1 ~ R2. 3. 31	5年0月	同課の××班の指導係員に就任し現在に至る	R2. 4. 1 ~ R8. 11. 1	6年7ヶ月		~	0年0ヶ月		~	0年0ヶ月			0年0ヶ月	在職期間 (年月日) ・ 在職年月数欄			在職期間の合計は、計算の上手入力のこと。			在職期間 計		30年7ヶ月	重複期間を除く 在職期間 計		30年7ヶ月
職歴	在職期間 (年月日)	在職年月数																																												
(株) 〇〇工業 〇〇支部 第二製造部 〇〇課 電機工として就職	H8. 4. 1 ~ H27. 3. 31	19年0月																																												
(株) 〇〇工業 〇〇支部 第二製造部 ××課 配置転換	H27. 4. 1 ~ R2. 3. 31	5年0月																																												
同課の××班の指導係員に就任し現在に至る	R2. 4. 1 ~ R8. 11. 1	6年7ヶ月																																												
	~	0年0ヶ月																																												
	~	0年0ヶ月																																												
		0年0ヶ月																																												
在職期間 (年月日) ・ 在職年月数欄																																														
在職期間の合計は、計算の上手入力のこと。																																														
在職期間 計		30年7ヶ月																																												
重複期間を除く 在職期間 計		30年7ヶ月																																												
<p>現職については、令和8年11月1日をもって終期とすること。</p>																																														

表彰歴、免許・資格、大会入賞歴・技能検定等写しの提出について

本調書に記入した表彰や入賞歴などは、証する写しを全て、「その他資料」として提出すること。

※「様式4 写真」には記載しないこと。

その際には、表彰名や免許・資格名に①、②と番号を振り、根拠となる写しのファイルにも同様に①、②と番号を付すことで、どの根拠資料を示しているかが明確に分かるよう工夫すること。

表彰歴	表彰の種類	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰	①障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰（優秀勤労障害者）	HO年〇月
	知事・行政機関の局長表彰	②〇〇県優秀勤労障害者	HO年〇月
	全国レベルの業界団体表彰		
	その他		

表彰歴欄 ※項目名の変更や行の追加など勝手に様式を変えないこと。

表彰を有する場合、表彰の概要及び取得年月を記入。（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入）表彰の種類は、上段より順に該当項目に記入。

- ・「〇〇大臣賞」の場合は大臣表彰。
- ・「〇〇マスター（〇〇知事賞）」の場合は知事・行政機関の局長表彰。
- ・「一般社団法人〇〇協会会長賞」の場合は全国レベルの業界団体表彰。

免許・資格等

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、免許・資格等の概要と取得年月を記入し、免許等を証する書面の写しを全て添付する。

免許・資格等	免許の種類		免許・資格等の概要				取得年月	
		職業訓練指導員免許						
		技能検定委員						
		特許・実用新案等						
アビリンピック入賞歴	大会名など	開催回 認定年度	競技種目名	順位	技能検定	等級	技能士の名称	取得年月
	国際アビリンピック					一級	⑥機械加工技能士	HO年〇月
	全国障害者技能競技大会 (全国アビリンピック)	32回	③機械CAD	銅賞				
	地方アビリンピック	10回	④機械CAD	銀賞				
大会表彰歴等	技能グランプリ (一級技能士競技大会)							
	技能五輪国際大会入賞歴	技能・技術が分かるサイト等欄 自身の技能や技術が分かるサイト（会社・団体HP等）があれば記入。						
	技能五輪全国大会入賞歴							
	高度熟練技能者						https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kyou_roudou/000/index.html	
	ものづくりマスター	HO年度	⑤〇〇〇〇		〇位	技能・技術が分かるサイト等 (HPのURLを記載)		
	全技連マスター							

技能検定欄

等級は漢数字で記入。
技能士の名称、取得年月を記入。

アビリンピック入賞歴・大会入賞歴等欄

高度熟練技能者、ものづくりマスター、全技連マスターに該当する場合は、認定された年度（元号アルファベット+数字）、業種、職種を記入。
国際アビリンピック入賞歴、全国アビリンピック入賞歴、地方アビリンピック入賞歴、技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入。
留意点の「9.表彰歴欄」を参照のこと。

記入例

調書（2）一般（第21部門）

(様式3の6)

	職業部門	職種名（1）	職種名（2）	ふりがな	ぎのう ゆうこ
	第21部門	数値制御金属工作機械工	マニシングセンタオペレーター	氏名	技能 優子

過去5年の推薦回数欄

過去5年において被推薦者が卓越した技能者の表彰について推薦された年度を記入し、合計回数を確認する。

職業部門、職種名（1）、職種名（2）、氏名欄

調書1に記載したものが自動で反映。

過去5年の推薦回数	推薦者の所属先	〇〇〇〇 〇〇長			
令和4 年度	推薦者氏名	推薦 太郎	TEL 000-000-0000		
令和3 年度	〒 住所：都道府県	住所：市区町村以下			
年度	000-0000 〇〇県	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇-〇	〇〇マンション〇〇号室		
年度	賛同者①の所属先	〇〇			
年度	賛同者①氏名	賛同 一郎	TEL 000-000-1111		
計 2 回	〒 住所：都道府県	住所：市区町村以下			
	000-0000 〇〇県	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇-〇	〇〇アパート〇号室		
	賛同者②の所属先	なし			
	賛同者②氏名	同石 照人	TEL 090-0000-0000		
	〒	住所：市区町村以下			
	000-0000 △△県	△△郡〇〇村〇〇〇-〇			
	(推薦理由)	<p>氏は〇〇の障害があるものの、マシニングセンタオペレーターにかかる優れた技能を有しており、その技能を活かして、最も重要かつ高い技能が求められる〇〇業務に指導係員として従事している。職場では障害者雇用への理解が深く、その技能の実現のためには、障害による作業効率低下しないよう、〇〇の工夫をする等職場環境の改善を図り、卓越した技能になるに至った。日々の業務においても、後進者の指導に尽くし、事業所全体の技能レベルの向上にも大きく貢献した。また、〇年にわたりアビリンピックの指導を行い、数多くの全国アビリンピック受賞者を輩出するなど、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、優れた技能を有するとともに、その技能を伝承する上で大きな役割を担っているため推薦する。</p>			

卓越した技能の概要欄

P12 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上記入。一葉で記入することが困難な場合は、調書（3）まで記載して差し支えない。

なお、自身の持つ障害に触れながら障害をどのように乗り越えて技能のレベルを高めてきたのか、また被推薦者の技能向上のために職場環境の工夫や取り組みについても具体的に記入する。

卓越した技能の概要			
技能の概要 (障害の克服と技能研鑽への工夫や取り組み)	功績・貢献の概要 (社会的貢献活動を含む)	技能の指導及び育成の概要	現役性
<p>1 優れた組立技能 氏は〇〇の障害がありながらも、機械CADをはじめとした、マシンニングセンタオペレーターにかかる卓越した技能を有する。1/1000単位等非常に正確さを要するこの作業について、金属の性質や回転数を考慮しながら、他の技能者であれば、その品質は〇〇単位の精度が求められるところ、その更に1/10の〇〇単位の精度までの加工を行うことによって、緻密且つ高品質な製作を行っていることから通常〇〇日かかるところ、氏は障害により遅れがちとなる作業スピードを卓越した技能によって通常〇日かかるところを〇日で仕上げ、稼働率は〇〇%アップし、且つ、高品質な製品を実現し、企業の業績にも大きく貢献している。また、氏の存在により安定稼働がなされているといっても過言でない。</p> <p>このような極めて優れた技術も、氏は人一倍努力を積み重ね技能を研鑽するだけでなく、その技能を実現するため、障害による作業効率が低下しないよう、職場環境の改善として、〇〇の措置を講じるなどをした。このことによって、事業所全体の環境改善に目を向けることができ、引いては技能レベルの向上に大きく貢献した。</p>	<p>1 業績への貢献 氏の製品づくりは、高度な技能による精度の追求や、スピードだけではなく、取引先が新製品の開発の相談があれば、複雑な形状への困難とされる加工も行うことができるため、多種多様な提案を行うことができ、また、氏の提案には自信の経験から障害雇用にも配慮されたものとなっている。こうしたことから、先方の企業からは、非常に満足度が高い評価を受け、引いては売り上げ高にも貢献するなど、企業自体の信頼度も高めている。</p> <p>2 業界における障害がある技能者の技能向上への貢献 全国アビリンピックに機械CAD職種として〇度出場し、第32回大会では銅賞を受賞するなど、業界における障害がある技能者の技能向上に多大な貢献をした。</p> <p>3 社内への貢献 氏は〇〇社〇〇部門に採用され、勤続〇〇年従事しており、その知識と技能は、他の従業員の模範となっており、周囲の従業員からも相談を受けたり、指導も行っている。</p>	<p>1 第二製造部〇〇課××班における後進者指導 上記班に所属する〇名の職員に対し〇〇業務の指導を行い、職員に豊富な知識を伝えることで、事業所内の周囲や職員の後進の育成に貢献している。</p> <p>2 アビリンピックの指導 氏は過去に出場した経験を生かし、どのような指導を行えば効率的に競技大会で好成績を収めることができるか、といった感性を体得しており、第二製造部〇〇課××班の指導係員として日々〇〇業務に従事する傍ら、アビリンピックの指導を行い後進育成にも尽力している。優れた技能を用いて、〇〇年間にわたり、〇〇職種の指導を行ったことで、〇名が全国アビリンピックに出場し、うち△名が受賞した。</p>	<p>1 氏は、第二製造部〇〇課××班の職員として勤務しているが、人柄は温厚で、誰とも親しくコミュニケーションを取れる人気者であり、所属部署の職員だけでなく、社内の雰囲気づくりに貢献している。</p> <p>2 勤務態度についても、挨拶等しっかりした礼節の下、時間に遅れることなく、熱心に業務に取り組んでいる。 1日の主な作業内容及び時間は次のとおり。</p> <p>1 〇〇業務：〇時間 2 大会指導：〇時間 (大会直前期は△時間)</p>
229	187	171	119